

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル（科目名）		授業の種類	授業担当者	当該科目に関する実務経験
こどもの生活と環境Ⅱ		（ 講義・ 演習 ・ 実習 ）	柳田真理子	保育士
			榎本 可世子	保育士 保育園園長 子育てアドバイザー
授業の回数 15 回	時間数（単位数） 30 時間 （ 1 単位）	配当学年・時期 2 年・後期	必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい]				
「こどもの生活と環境Ⅰ」での学習を基に、学生自身が様々な環境に関わり、子どもの生活や経験に結びついた保育の展開を考えていく力を育む。 - 様々な視点から環境を捉えて自分の保育観を養い、現場での実践力を培う。				
[授業全体の内容の概要]				
「こどもの生活と環境Ⅰ」での学習を踏まえ、身近な環境を通して実践的に学習する。				
[授業終了時の達成課題（到達目標）]				
子どもの生活や経験に結びついた保育の展開を考えることができる。				
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]				
1. 身近な環境に親しむ①自然とふれあう 動植物、土、砂、風、水、光 2. 身近な環境に親しむ②自然とふれあう // 3. 身近な環境に親しむ③自然とふれあう 自然事象、季節 4. 身近な環境に親しむ④自然とふれあう フィールドビンゴ 5. 身近な環境に関わる①聞く、見る、触れる、嗅ぐ、味わう 6. 身近な環境に関わる② // 7. 身近な環境に関わる③簡単な標識、文字 8. 身近な環境に関わる④数量、図形 9. 身近な環境に関わる⑤科学あそび 10. 身近なものを大切にする①廃材を利用したおもちゃづくり 11. 身近なものを大切にする② // 12. 身近なものを大切にする③ // 13. 指導案作成① 14. 指導案作成② 15. 実技試験				

[成績評価の方法と基準]

教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。

- ・ 考査点 (75%)
 - ・ 到達目標の修得状況を測るために、実技試験により期末考査を実施する。
- ・ 平常点 (25%)
 - ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。
 - ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。

[使用テキスト・参考文献]

- ・ 保育所保育指針
- ・ 保育内容「環境」あなたならどうしますか？ 萌文書林
「事例で学ぶ保育内容 環境」萌文書林